

活用方針



VLP取組概要



■ VLP活用のねらい

- オンライン上の仮想空間を利用した新たな居場所や学びの場を提供し、不登校支援の充実を図る。

■ 対象生徒・児童

- 不登校状態にある、あきる野市立学校の児童・生徒
- 運営時間
月曜から金曜 AM8時～PM6時

■ 活用方法

- 教育支援室にてVLPの見学・体験を実施後、保護者が「VLP利用開始届」を提出する。その場で個人タブレットに「ID・パスワード」の設定を行い、即時利用が可能な状態を整える。
- VLPに入室してデキタスに一定時間以上（小学生45分中学生50分）取り組み、学習状況を在籍校と共有する。

活動・取組み内容



活動・取り組み内容

【前期】

- 時間割を変更し、毎日1時間目は全員VLP入室し、オンラインドリルでの自習を習慣化
- 1時間目終了後の「VLPミーティング」で、自宅参加者とともに出席を取ることを4月中に定着
- 「出席扱い」の基準を市内で共通理解
- 教育支援室でVLP利用受付とID設定を開始
- 校長会、副校長会、学校訪問、教育相談所やSSWと連携したVLPの積極的な紹介
- オンラインクイズイベントを毎週開催
- 5月VLP自治体担当者連絡会で取組み発表
- 6月新イベントエリアオープン記念イベント
- 7月あおぞらルームイベント参加

【後期】

- 毎月の小中学校への月末報告と学校訪問で、個別のVLP利用状況について情報共有
- オンラインクイズイベントを毎週開催
- 10～2月あおぞらルームイベント、11月おしゃべりAI実証実験、12～2月オンライン牧場見学参加

成果/好影響・次年度以降の方針・利用者の声

成果/好影響

- 教育支援室登室者のVLP利用を定着させたことで、欠席時も自宅から入室する習慣が形成された。日常的な利用者の存在は、新規希望者が安心して利用を開始できる環境が整っている。
- 教育相談所やSSWからVLPの利用を紹介することにより、16人でスタートしたVLP登録者は、2月末には81名になった。
- VLPを通じた養護教諭とのやり取りが、児童の安心感と信頼関係の深化につながり、保健室登校へとつながった。
- 8月を除く4月～2月のログイン回数平均は1295回(最高月1898回)、textチャット平均は3415回(最高月7848回)だった。
- VLP入室から教育支援室登室へ25人、校内別室登校へ33人、学級復帰25人と、次の場所につながるきっかけになった。

次年度以降の方針

- 市内でVLPについての認知度が高まってきたので、引き続き教育支援室の時間割にVLPの時間を設定し、登室者と自宅からの入室者を区別せず、VLPミーティングでの出席確認を行うことで、毎日児童・生徒がVLP内に滞在する状態を維持していく。
- VLPではオンラインドリルへの取り組みを学習の基本に据える。個々の進捗状況に応じ、児童生徒へ直接的な賞賛や助言を行うことで、学習意欲の持続と向上を図っていく。
- 毎週のオンラインクイズイベントに加え、オンラインクラブ等の新たな交流活動を検討する。多様な活動を通じ、児童生徒の自主性や探究心、自尊感情を育んでいく。

利用者の声



- オンライン支援員さんは、いつも気軽に話し相手になってくれて嬉しかった。オンラインドリルのアニメ授業は映像がわかりやすかった。
- VLPの中でクイズやなぞなぞを出し合ったり、アバターを動かす裏技を教え合ったりして他の子と仲良くなり、楽しく遊べるようになった。
- 「桃鉄教育版」や「東京都こどもホームページリンク集」では、遊びながら学習できた。
- 毎週のオンラインクイズイベントは、いろいろな先生が作った様々な内容のクイズで、参加者同士で順位を競い合えたし、最後に表彰台に乗れた時はとても嬉しかった。



- VLP開室時間が長いので、好きな時間に利用でき、オンライン支援員がいつも温かく根気よく接してくれるので、子供は居心地よく過ごし、デキタスやイベントにも楽しそうに取り組めていてありがたい。(保護者)
- オンラインドリルによる学習は定着したが、アプリの仕様上、VLP担当者が児童生徒の取組内容へ直接フィードバックを行うことが困難であった。次年度は、ドリル画面上で賞賛や助言が送るなど、双方向の関わりを強化することで、学習意欲の持続とより質の高い学習習慣の確立を図りたい。(教員)



Before

- 教育支援室に登室しない日に自宅からVLPに参加させるには?
- VLP内でどんなことをやらせればいいのか?
- どうすればVLPメンバーを増やせるか?

After

- 支援室のリアル登室者も、1時間目は全員VLP入室しデキタスで自習する
- 1時間目終了後、オンライン入室者とともに10:10よりVLP内で出席を取る
- 教育支援室でVLP利用受付とID登録を全て行う

教育支援室 時間割

	月	火	水	木	金
8:30	登室・健康チェック・VLPログイン				
9:30	① VLP オンライン学習				
10:10	VLP ミーティング				
10:20	10分休憩				
10:30	② パーソナル学習				



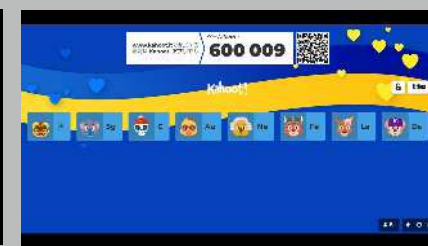
10分休憩

③ パーソナル学習

11:20

12:00 昼食・昼休み

13:00	清掃	清掃	清掃	清掃	スポ
13:10	コラボタイム	VLPイベント	コラボタイム	コラボタイム	レク
13:50	活動記録記入	活動記録記入	活動記録記入	活動記録記入	
14:05					
14:15					
14:30	最終退室	最終退室	最終退室	最終退室	
14:45					



*** VLPへの利用登録手順 ***

- 不登校状態にある児童・生徒全員に学校からVLP利用案内を配布
- VLPを体験したい児童・生徒の保護者が教育支援室にメールで申し込む
- 学校貸与TABを持って教育支援室に来室してVLP体験
- 希望者にアカウント貸与（利用開始届提出）

- VLP利用開始を指導室と該当学校に連絡
- VLP入室し、デキタスに一定時間以上（小学生45分中学生50分）取り組みば出席扱いができることを説明
- 児童・生徒のVLP入室時刻を毎日学校に送付

*** 改善ポイント ***

- ① VLP利用受付とID設定を教育支援室で一元化
- ② 出席扱いの基準設定
- ③ 毎日VLPのデキタス学習が習慣化
- ④ 毎日VLPミーティングで出席確認
- ⑤ SSWとの連携強化でVLPを紹介